

第 2 次富良野市農業及び農村基本計画 の評価と検証について（案）

平成 30 年 10 月 日

富良野市長 北 猛 俊 様

富良野市農政審議会
委員長 小 師 和 彦

平成 30 年 7 月 11 日の審議会設置より「第 2 次富良野市農業及び農村基本計画の評価と検証について」を審議した結果、適当と認めます。

なお、新たな富良野市農業及び農村基本計画の素案作成にあたっては、次の意見が反映されることを希望いたします。

記

新たな富良野市農業及び農村基本計画の素案作成にあたっての意見

1. 本計画に掲げる基本理念の実現に向け「供給力を維持し持続可能な農業の発展」に主眼を置き、市内関係機関・団体が同一歩調をとり農業及び農村の振興を図る体制づくりを進めること。
2. 上記の実現に向け、喫緊の課題である労働力不足に対応するため「労働力支援対策」と「省力化対策」について重点的に取り組み、あわせて作業効率の良い優良な農地を次世代に引き継ぐための「農地対策」を計画策定の 3 つの柱とし、本市農業の推進を図ること。
3. 農業生産の基盤である農村の機能低下が懸念されることから、住民自らの創意工夫による地域活性化に向けた活動の裾野が広がるよう努めること。
4. 農業者や関係団体との意見交換を行い、基本計画への意見反映に努めること。
5. 本市農業及び農村の振興にあたっては、国及び道と連携することとともに、これらに対して施策の提言を積極的に行うこと。
6. 日米の通商協議等、農業情勢の変化に対しては、計画期間中でも柔軟に対応すること。